

- 1 私たちは、子供を守り、育てます。
- 2 私たちは、法令を遵守します。
- 3 私たちは、不祥事を許しません。
- 4 私たちは、地域に開かれた学校にします。
- 5 私たちは、一人一人個人目標を持って取り組みます。
- 6 私は、

令和5年度不祥事根絶のための行動計画

神石高原町立三和小学校
作成責任者 校長 前田 静樹

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○不祥事案に学び、自分の事として考える。	○服務研修において、当事者意識をもって実施し、「自分にも、自校でも起こる」という意識をもつ。	○全教職員がリーダーとなって、1年に1回以上服務研修を進める。 ○研修資料や進め方については、事前に不祥事防止委員会と連携し検討する。	○年に2回、服務研修についてのアンケートにより変容を見取り検証する。 ○月に1回、不祥事防止委員会の報告を受け自身の行動を振り返る。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○教職員が互いに不祥事を許さない風土づくりを行う。	○教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、組織で仕事を進めることができるようにする。	○各分掌等で互いの仕事の進捗状況を確認し、主任層を中心に、特定の者に負担がかからないような体制をつくる。	○月に1回、企画委員会、不祥事防止委員会、衛生委員会で情報交換を行い、状況を把握する。
相談体制の充実	○「いじめ・体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の認知度を高める。	○「いじめ・体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」が学校や学校以外にもあることを周知する。 ○「いじめ・体罰・セクシャル・ハラスメント」等の予防的な対応をする。	○学校だより・校内掲示物、PTA総会・HPで保護者・地域の人等に周知する。 ○学級・児童実態把握をし、報告・連絡・相談を行うことを重視する。	○学期に1回、児童、保護者を対象にアンケートを行い、状況を把握する。 ○学期に1回、児童、保護者及び教職員を対象にアンケートを行い、状況を把握する。